



島建道第 18 号  
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

島田市長 桜井勝郎  
(建設部道路河川課)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のあったこのことについて、別添のとおり回答いたします。

連絡先 島田市建設部道路河川課  
道路係 落合 敏次  
TEL 0547(36)7182

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

島田市の周辺では、現在、富士山静岡空港や新東名高速道路といった広域拠点を結ぶ高速交通の整備が着々と進められている。また、太平洋と日本海との結節を見据えた中部横断自動車道、三遠南信自動車道の整備については、生活、観光、産業などあらゆる面で大きな効果が期待されている。

さらに、各拠点の連携を確立することにより、安全、安心、快適な生活を支える国土の形成と、自然災害や予想される地震時における広域防災拠点の整備は当然であるが、緊急輸送ルートの確保や支援体制の強化に対しても大きな効果を期待がもてると思われる。

一方、道路の整備にともなう交通の集中による新たな交通渋滞等の障害の発生が危惧されることから、現在、進められている国レベルでの主要な事業と並行して、他地域及び主要な交通結節点との有機的な連携強化に視点を置いた整備を推進しているところである。

こうした背景を踏まえて、今後の道路政策や道路の整備・管理について、下記のとおり回答する。

### ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

国土軸を形成する高規格道路等の国レベルの道路整備に並行して、他の地域及び主要な交通結節点等を有機に連携する地域高規格道路や国道・県道等の地域軸を形成する道路整備を推進して、大交流時代における拠点機能の充実と交通渋滞の解消に向けての緩和策を図る必要がある。

※ 高規格幹線道路等の国土軸を形成する道路整備の推進。

(新東名高速道路、中部横断自動車道、三遠南信自動車道の整備の推進)

※ 連携する地域高規格道路や国道・県道等の地域軸を形成する道路整備の推進

(国道1号バイパスの完全4車線化、地域高規格道路金谷御前崎連絡道、富士山静岡空港アクセス道路及び各道路と連携する道路の整備の推進)

### ・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

効率的で生産性の高い土地利用を実現するため、高規格幹線道路等の国土軸と地域軸とのネットワーク化とともに、空港・港湾などの交通拠点や物流ターミナル等との連携を適正化させ、円滑で効率的な交通体系の実現に向けて、国・県・市が総合的に道路の整備をする必要がある。

また、地域における大型プロジェクト等の重点施策に対しても、国・県・市が連携して道路ネットワークを総合的に計画し、集中的に整備を推進することで、事業効果の早期発現や波及範囲が拡大され効率的な土地利用が図れると思われる。

そのため、直轄で整備する道路以外の連携を必要とする県及び市町村が整備する重要な幹線道路に対する財源の適正かつ平等な支援が不可欠と考える。

### ・その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関するご意見

道路の計画・整備・管理に当たっては、国・県・市の役割分担を明確にし、連携して一体的かつ円滑に進めることが不可欠であるが、地方の道路整備は都市部と比べまだまだ十分な状況でない。そのため、地方の意見を十分に考慮した道路の整備への道路特定財源の活用を期待する。

島田市長 桜井勝郎

平成19年5月8日